

25071C

高齢・障がい者など多様な主体の農業参入支援技術の開発

1 代表機関・研究総括者

(独) 農研機構農村工学研究所・石田 憲治

2 研究期間：2013～2015年度（3年間）

3 研究目的

高齢・障がい者に利用しやすい安全な農地基盤、農作業機器、農業生産環境を実現するため、多様な主体の農業参入を促進する軽労化や省力的で優しい農作業環境を提供する技術を開発する。

4 研究内容及び実施体制

① 高齢・障がい者による農作業領域拡大のための栽培管理技術の開発
作業分解と農地利用の作付自由度改善に着目し、農作業を担う高齢・障がい者の能力に応じた省力的な栽培管理技術の確立を目指す。
(独) 農研機構農村工学研究所・近畿中国四国農業研究センター、島根県農業技術センター)

② 農作業の軽労化技術と高齢・障がい者の農作業評価手法の開発
作業環境の改善による軽労化技術と健康に着目した農作業評価手法を開発して、高齢・障がい者の農業参入支援を促進するマニュアルを作成する。
(独) 農研機構農村工学研究所、岡山大学大学院環境生命科学研究科、大阪府立環境農林水産総合研究所)

③ 普及支援業務

①②で開発する、省力的な栽培管理技術や軽労化技術を、高齢・障がい者が農作業を行う現場で実証して、改善に反映するとともに普及を推進する。

(社会福祉法人同仁会のぞみ園、(株)グリーンファーム)

5 達成目標

省力的栽培技術や軽労化技術が開発され、高齢・障がい者の農作業能力や特徴を活かした選択の幅が拡大して適合性の高いマッチングが容易になり、より多くの多様な主体の農業参入を可能にする。

6 期待される効果

高齢・障がい者の農作業の可能性を高める農業生産環境の実現により、農業の担い手が増加するとともに、高齢・障がい者の社会参加と健康維持を促し、農業の振興と農村地域の活性化が期待される。

研究背景とねらい



多様な障がい→埋もれている労働力

未活用の人的資源

活用したい



- ・大区画整備に取り残された圃場
- ・混住地域の圃場
→遊休化のおそれ

未活用の土地資源

高齢・障がい者の農業参入を阻む壁→参加困難な作業環境



- ・生産性に特化して整備され、高齢・障がい者には農作業が困難な、田畑・果樹園・栽培施設



- ・機能的だが、高齢・障がい者には扱いにくい道具
- ・合理的だが高齢・障がい者には困難な手順

- ・人手とやる気はあっても適した農作業がわからず
選択が困難

研究目的：高齢・障がい者に利用しやすい安全な農地基盤、農作業機器、農業生産環境を実現するため、軽労化や省力的で優しい農作業環境を提供する技術を開発する。

高齢・障がい者の農作業アビリティを高める農業生産環境を実現

研究内容

① 高齢・障がい者による農作業領域拡大のための栽培管理技術の開発

<生産基盤>

生産作物や作業者に合わせた農地のフリースケール化、省力的栽培法の確立

② 農作業の軽労化技術と高齢・障がい者の農作業評価手法の開発

<農業者>

道具の改良と担い手に合わせた手順の改善による作業環境の確立

③ 普及支援業務

現場での実証と普及



<多様な評価指標>

高齢・障がい者の農作業能力や特徴を活かした選択が出来るマッチング支援のしくみづくり

高齢・障がい者の農作業メニューづくり
(マニュアル作成)

期待される効果

高齢・障がい者の
農作業アビリティを高める
農業生産環境の実現

農業の担い手の増加

高齢・障がい者の
社会参加と健康維持

農業の振興と
農村地域の
活性化に貢献